



いなほ

稲積神社社報

第17号

平成14年 5月 3日発行



御神水

地下百三十メートルから湧き出ている水。
飲水にて長寿、健康運のお水取りに良い。



詳細は社務所にお尋ね下さい。

御石取りのご神徳

病氣平癒は床下に。

運氣興隆・方災除け・旅行安全
はお守り袋に入れて身にお付け
下さい。

新築・増改築のお清めは敷地中
心に。
土地清め・方位除けは東西南北
の四隅に。

御砂取りのご神徳

家内安全・商運繁榮祈願は玄関
に。

御砂取りのご神徳

「わかえ」信仰の御砂・御石取
りで大神様のご神徳・ご神縁を
お授かり下さい。

「わかえ」とは、神殿の「神御柱」
を築き固めている、御砂・御石の
総称であります。

「わかえ」信仰

御砂・御石取りの由来



美 徳

宮司 根津泰昇

今年こそ平和で、穏やかな年であって欲しいという願いとは裏腹に、同時多発テロ以来戦争のニュース、国内では政治不信、マルチ商法等の報道を目にいたします。まさに自己中心的で、相手を認めようとならない「我」の張合のような気がしてなりません。このような情勢を見るにつけ、神代の時代の『国譲り』の大御業を思い起こさねばと思えます。

『国譲り』の神話は「古事記」「日本書紀」「風土記」「万葉集」に記されているように、北九州から日本海、瀬戸内海沿岸、信濃、関東、また日本の中央である大和の国に至るまでの広大な国土の「国主」は、開拓の神であります大國主大神様でした。この神様は因幡の白兔で知られています神様です。皮を剥がれた兔に治療方法を授けた薬効のご神徳

のある神様でもあります。又兄神達に殺されそうになりますが、兄神達を信じ言われるがままに行動された神話もありませんように疑う心を持たない神様でもあります。いわば「無為」の神様で福縁をお授けになる神様でもございます。当社の御祭神宇迦之御魂大神様とは兄妹神であります。

大國主大神様の前に、「天」の思想をもった天照大御神様が現れ、「豊かな広大なこの国土を私にお譲り下さい。」この国土を一層住み良い国土にお造りいたしますとのお約束をしました。大國主大神様はあっさりとして『国譲り』をいたしました。

この『国譲り』により天つ神、国つ神の祀り祀られ、守り守られるという対等な関係が生まれ天照大御神様は伊勢神宮に大國主大神様は出雲大社に祀られ共に皇室の祀りをお受けになる神宮・大社となつたのであります。

このように『国譲り』こそ神様が身をもって示された和・忠・孝である平和な精神・自己向上、生気興隆を表現した神話ではないでしょうか。神話の精神は日本の美德です。美德の精神を教えて下さったのも天照大御神様・大國主大神様でございます。

昨今は、人を押しのけてまで自己主張しますが、人は一步譲れば広角に物が見えるものです。ですから譲る精神は相手をよく知るということにもなるでしょう。私達は、神代の時代の『国譲り』の精神で教えられた日本の美德に思いを寄せ、この精神を私達が世界に発信し、平和な世の中であるよう願わずにはいられません。

注、当神社の干社詣の集いでは今秋大國主大神様を祀る出雲大社と当社社の御祭神の父神様素盞鳴尊を祀る熊野大社へ参拝いたします。ご参加下さい。

祭典行事歴

(五月〜十一月)

毎月	一日	月始祭
	三日	月次祭
	十五日	神恩感謝祭
		古神札
		焚上げ祭
五月二日		献木祭
		正ノ木大祭前夜祭
	三日	正ノ木例大祭
	四日	大祭特別祈願祭
	五日	二ノ祭
六月		正ノ木大祭終了祭
		お田植祭
三十日		夏越 大祓
八月		富士ヶ嶺開拓祭
十月一日		金刀比羅祭
十月二十七日〜二十九日		甲府伊勢講千社まいるの旅
		出雲大社・熊野大社参拝と名湯・玉造温泉と
		湯の里・城崎温泉

御日供献饌講について

当神社では毎朝大神様に神饌(米・酒・乾物・野菜・果物・塩・水)をお供えして祭典を奉仕しております。

このおまつりを「御日供祭」と称し、御日供祭にお供えする神饌奉献者の集まりを御日供献饌講と申します。

御日供献饌講は、毎年、一月一日より十二月三十一日迄を区切りとして、毎朝講員の皆様の繁栄をお祈り申し上げ一年間お護りいただく御礼として順次大神様に神饌をお供えして参ります。

又、御奉献いただいた講員の方々に、年一度お集り願って大神様に益々の御加護を祈念すべく御日供献饌講々社祭を斉行致します。

この御日供献饌講の初穂料は一口三千元です。

御希望の方は御参拝の折に受付へお申し出下さい。

祝祭日には

国旗を揚げましょう!!

神社社務所でも頒布しております。

国旗セット

国旗、竿、金色冠頭
(取付金具、収納袋付)

頒布価格 一、五〇〇円

神社にお参り

しましう!!

伊勢講今昔

甲府伊勢講講演
今橋 保

「伊勢に行きたい伊勢路が
みたい。せめて一生に一度で
もわしが国さは。お伊勢に
遠し。お伊勢恋しやまいりた
や」と伊勢音頭で謡われた伊
勢参りは、自由に旅すること
ができなかつた江戸時代の人々
にとつて一世一代の晴れ舞台、
大きな楽しみだったようです。
当時は、自分一人の財力で行
くことが出来ない人々が、参
宮のための「伊勢講」と呼ば
れる組織をつくっていました。
みんなで伊勢参りのためにお
金を積み立て、クジなどの公
平な方法で代表を選んで伊勢
に代参させました。このクジ
にあたつた人は狂喜乱舞した
そうです。近畿地方などの近
い所では、講全員が参加する
「総参り」などもおこなわれ
ましたが、遠い地方などでは
ほとんどが、このような「代
参」方式でした。また、伊勢
には「御師」と呼ばれる人が
いて、全国の講を巡回し神宮
の大麻（御札）や伊勢暦など
を配り初穂料を回収し、また
講の人が伊勢に来たときには、
宿泊から観光の手配など至れ

り尽せりのサービスでもてな
し、お伊勢参りの隆盛を支え
ていたようです。「講」が団
体旅行のツアーだとすると、
さしずめ「御師」はツアーコ
ンダクターのようなものだと
云えます。当時、江戸から伊
勢神宮まで往復三十日、今で
は一泊すればゆつたりとお伊
勢参りを楽しむことが出来ま
す。当時の伊勢参りは現在の
世界一周旅行に匹敵するくら
いの大変なことだったようで
す。また、現代では、お金か
ないからクジで誰か代表でお
伊勢参りになつてことは、聞
違つてもありえませんが、有
るお金ではなく、ないお金を出
し合つて貯めて、自分が行け
なくても代参してもらうこと
に喜びを感じた、この時代の
人たちのすばらしい信仰心
には感心させられます。今年二
月に、縁あつて甲府伊勢講の
講元を丹沢さんからバトンタ
ッチをされました。初代講元
野沢さんから三代目となりま
す。心意気だけは江戸時代の
人たちに負けないすばらしい
講にしたいと思つています。
甲府伊勢講千社詣でに一人で
も多くの人が参加されること
を、心よりお待ち申し上げて
おります。

稲積神社崇敬青年会

会長 大澤 慶暢

○二年一月より佐藤前会長
より崇敬青年会の会長を引き
受けております大澤です。

本来ですと二年後に就任予
定でしたが、急速繰り上げて
役員改選を行ない、会長をは
じめとする全役員が入り替わ
り若がいりを計りました。

新役員は、会長 大澤慶暢、
副会長 鶴田勇雄、会計 長
瀬英規、会計補佐 野沢賢次、
顧問 根津泰昇宮司、佐藤久
良前会長の役員です。

私は、この会に入つてまだ
日が浅く何も解りませんが、
会員の皆様の意見に耳を傾け、
青年会活動の原点を見直し活
動を精選し会員には色々な意
味で負担を極力少なくした上
で神社行事への積極的参加と
会員同志や神社との相互の理
解などを深めながら活動をし
て行きたいと思つています。

このような考えの元で運営
して行きますので、今までの
活動より地味に見えるかもしれ
ませんが会員が志を同じくし
地道に活動して行きますの
で、今後とも青年会に御指導、
御協力の程宜しく御願ひ申し
上げます。

（現在会員募集中です。）

雅楽雑感

雅楽会々長 久札 昭義

厳しい冬も節分・立春とな
ると、そこはかとなく春の息
吹を感じられます。人の心も
和んで来ます。稲積神社の正
ノ木祭りもすぐそこ迄近づい
て来ました。祀つてある神様
は、衣・食・住の神さまです。
大勢の人々に信仰されています。

私は稲積神社の雅楽会に
在籍しております。県内には
神社が多くありますが、雅楽
会があるのは当稲積神社だけ
と聞いております。今雅楽会
には約二十人程の人達が練習
に励んでいます。箏・笙・
龍笛です。

そうして技術を習得し後世
へ伝えると云うことは非常に
貴重です。世が代るにつれ結
婚式も様々になりました。で
も結婚式は日本古来の神前式
が最も相応しいかと思つます。
雅楽の吹奏をバックに誓盃の
儀式などは生涯忘れ得ぬ感激
として残るでしょう。神社と
致しても此の雅楽が途切
れることのないよう若い人達
を育成されんことを願望する
次第です。稲積神社の繁栄と
雅楽会が益々大勢の人から愛
される会になりますよう祈念
致します。

（現在会員募集中です。）

全国氏青協議会開催

理事 佐藤 久良

全国氏子青年協議会の第三
十九回定期大会が、八月四日
京都市東山区の都ホテルを会
場に全国より八百人の会員が
参加して開催された。

雅楽演奏のなか開会した大
会は先ず「神宮の燈」を点火
した。この燈は神宮の切り火
より拝戴したもので氏子青年
の神宮崇敬の念をより強いも
のにしよとの思いが込めら
れており、その燈を通して全
員で神宮を遙拝した。

次に国歌君ヶ代斉唱、教育
勅語奉読、氏子青年会綱領唱
和の後、物故者に黙祷を捧げ
平岡会長が挨拶に立った。

会長は全国子供相撲大会の
報告で青少年の育成事業の充
実と組織の拡充を訴えた。
次に来賓の挨拶、参加単位
会の紹介があった。

次に定期大会に先立ち行な
われた総会で役員改選により
大澤新体制となつた事、新年
度の事業計画等が井関議長開
催県会長より報告された。
次に次期開催県の島根県へ
大会旗が渡され、全員で「美
しき山河」を斉唱した。

最後に聖寿万歳を奉唱して
閉会した。

「知覧を訪ねて」

権祿宜 篠原 康正

このたび山梨県神社庁教化委員会の研修旅行に参加させていただき、南九州の神社と知覧の「平和館」を訪ねてまいりました。

知覧は先の太平洋戦争末期、戦争を挽回すべく特別攻撃隊が強化決定され、陸軍特攻基地となった所で、山梨県から六名の方がこの特攻に参加され、全国各県の方々合わせ千三十六名の若者が南の空へ行かれた所です。この方々の御霊の安らかなことを願い、全国からの浄財によつて慰霊施設が建立されていますが、その中に「平和館」もあり、この若者達の遺された言葉、国を思い、家族を思う純粋さには、ただ涙あふれてしまいません。昨年、小泉首相が、八月十五日靖國神社に参拝すること、色々な意見ができましたが、なぜ国の為にと死んでいった方々に、感謝の誠を捧げる事がいけないのでしょうか、戦争とは国と国との戦いであり、その戦いでなくなられた方々に感謝の誠を表し、慰霊する事は、どの国でもおこなわれています。

慰霊の形態はその国によって異なりますが、日本では、靖國神社がその中心となるものです。この若者達の言葉の前では、日本の首相が、日本の為になくなられた方々に、感謝の誠を捧げることが、ごくふつうに行なわれなくては、この方々に対して本当の慰霊にならないと思いました。



菅公千百年大祭始祭

— 京都・北野天満宮で齋行 —

今年には菅原道真公(菅公)が薨去されてから、千百年に当たり、菅公を祀る全国の神社で千百年大祭(式年祭)が予定されているが、これに先立ち、京都市上京区の北野天満宮では、一月二十二日、菅原道真公千百年大祭始祭がお

甲府伊勢講のご案内

出雲大社・熊野大社参拝と名湯・玉造温泉と湯の里・城崎温泉 山陰 二泊三日の旅
水の都松江・鳥取砂丘・天橋立をたずねて

伊勢神宮と並ぶ古社・大國主大神(大黒様)を祀る「出雲大社」と、出雲大社の「火継神事」を齋行する「熊野大社」を参拝いたします。又、山陰の名湯・玉造温泉と今、外湯巡りで話題の城崎温泉に宿泊し山陰の名所を訪ねます。稲積神社の境内社である「熊野社」は熊野大社より御神霊(おみたま)をご遷座いただき、稲積神社にとりましてもご神縁のあるお社です。この機会に皆様お誘いあわ

せの上、多数ご参加いただけますようご案内申し上げます。

夏越大祓式の御案内

大祓は六月三十日と十二月三十一日の年二回、半年毎に全国の神社で執り行なわれ、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪汚れを祓い清める神事です。特に六月の祓は「夏越の祓する人は千歳の命延ぶという」と謳われているようにちの輪をくぐり邪気を祓い暑い夏を元気で過ごせるようお願いが込められています。当社でも六月三十日に齋行致しますので是非御家族お揃いで御参拝下さいますようお願い申し上げます。詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

編集後記

「いなほ」第十七号をおとだけします。今年も境内の梅が春を忘れる事なく咲きました。季節の移ろいは年毎に早くなっていますが、自然は必ず季節を教えくれます。人間だけが何か忘れてしまうような気がします。

◎ 日程 ◎

10/27(日)	甲府各地——(中央道・首都高)——羽田空港——出雲空港又は米子空港——松江市内(武家屋敷・小泉八雲記念館・旧居)——そば庄たまき(昼食)——出雲大社(正式参拝)——玉造温泉(泊)	朝×昼○夜○
10/28(月)	玉造温泉——熊野大社(正式参拝)——白兔海岸——鳥取砂丘(昼食)——香住——城崎温泉(泊・外湯めぐりをお楽しみいただけます。)	朝○昼○夜○
10/29(火)	城崎温泉——天橋立(智恵寺)遊覧船——の宮——ケール——ケール——の宮(昼食)——興鶴大江IC——(興鶴道・中国道・名神高速・東名高速・中央道)——甲府昭和IC——甲府各地	朝○昼○夜○

□ご宿泊予定ホテル：10/27(日) 玉造温泉 ホテル玉泉 ☎0852-62-0021
10/28(月) 城崎温泉 西村屋ホテル招月庭 ☎0796-32-3535

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり
正ノ木稲荷大明神

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787